

令和元年度グローバル教養海外実践（フィリピン）

途上国の現状を肌で感じ、開発問題や真の豊かさについて考えよう！

訪問日程：令和2年2月24日（月）～3月3日（火） 9日間

訪問場所：フィリピン マニラ・カパス・ダグーパン・スアル

協力機関：認定NPO法人 GFF ジャパン

*路上で暮らす子どもたちを支援するために1995年に設立されたNGO

参加費用：約18.5万円（為替動向等により変動あり）（3食の食事代を含む）

（4万円助成利用の場合、実質約13.5万円）

募集定員：7名（先着申込順、最少催行1名）

募集開始：令和元年10月24日（木）0:00

募集締切：令和元年10月28日（月）17:00 ※参加費払込期限：NGOが指定する期日

引率教員：なし



子どもたちとの交流



ゴミ集積場



農村

【プログラムの特徴】

- ◆ 県大生だけでなく、他大学学生や社会人も参加するNGO主催のプログラムに参加。
- ◆ 参加者同士の学び合いを通して、平和や豊かさ、幸せについて語り合い、学びを深める。
- ◆ 都市部と農村部を複数箇所訪問し、途上国の貧しさと豊かさ、国内格差を実体験する。
- ◆ 都市の経済的に豊かな家庭と農村のシンプルな家庭の両方でホームステイ。
- ◆ 恵まれない子どもたちとの交流や都市スラム、ゴミ集積場、職業訓練施設等の訪問やそこで暮らす人々との交流を通して、開発問題や国際協力の意義について考える。
- ◆ 注）少々の不衛生や不便さを我慢できる、心身共に強い人向けの研修です。

【事前研修・帰国報告会】

- ◆ 事前説明会：令和元年11月下旬週末 @旅行代理店（尼崎市武庫川）
- ◆ 事前研修：令和元年12月～令和2年2月の間に2回程度実施予定
- ◆ 帰国報告会：令和2年3月下旬か4月上旬に実施予定

日程案

(現時点での予定。変更の可能性あり)

1	2月24日(月)	関空発ーマニラ着 オリエンテーション
2	2月25日(火)	マニラ→マバラカット→カパス 第二次世界大戦の跡地訪問
3	2月26日(水)	カパス→ダグーパン アエタ民族地域の先住民族居住村を訪問、先住民との交流
4	2月27日(木)	都市部のゴミ集積場訪問、ゴミ集積場で働く子供たちの実態ヒアリング 都市スラム訪問、都市の比較的裕福な家庭でホームステイ
5	2月28日(金)	ダグーパンの公立小学校訪問、DV被害女性の一時保護施設や障害を持った人たちの 職業訓練施設など、行政が運営する施設の訪問
6	2月29日(土)	ダグーパン→スアル マザーテレサ系列の子どもと高齢者の施設「Home of Peace」訪問 地方の農村家庭でホームステイ
7	3月1日(日)	CFF「子どもの家」訪問 貧困や虐待などの理由で家族と生活することのできない子どもたちとの交流
8	3月2日(月)	スアル→マニラ スモーキーマウンテン跡地訪問、肢体障害を持つ子どもたちの音楽団訪問
9	3月3日(火)	マニラ発ー関空着

※航空運賃や為替レートの変動、参加者人数等により、研修内容等一部変更となる場合がある。

※自宅の所在地によって、集合前や解散後の宿泊が必要な場合は各自で手配。

※申込金支払以降、キャンセル料が発生する。

※参加助成費(4万円)は、帰国後2週間以内に国際交流機構(GLEP担当)へ申請すること。

